

一般質問

会派正式名称

【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

【会派民主】

会派民主

【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、病院事業管理者は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

また、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会 議事録

検索



飛沫感染防止のためのアクリル板を設置しました。

①農林水産業対策 ②江原道との関係維持



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

問 ①コロナ禍で農業生産1千億円達成プランの軌道修正が必要。県産木材に積極的な支援を②韓国の土下座像、DBSクルーズ船の境港無寄港問題は遺憾。江原道との友好関係を問う。

答 ①計画年次を3年ほど遅らせ、実現可能な力強い生産振興を図る。県産木材利用の助成制度をつくり売り込みを図る②是は是、非は非とし、冷静に目の前の現実を見据え、お互いの信頼関係を育むことが重要。関係を直ちに見直す局面ではない。緩やかな発展をさせていく。

①誹謗中傷 ②COCOA ③安心登録システム



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①今後誹謗中傷にどう立ち向かっていくのか②コロナ陽性者に登録してもらうには③新型コロナウイルス対策安心登録システムをどのレベルで導入を進めるのか。

答 ①県民みんなで誹謗中傷をやめようとアピールしていくことが大切。先行してクラスター対策条例や県民宣言を採択し、市町村と共同で行動を起こしていく②プライバシーに十分配慮していると周知徹底を図り、働きかけていく③GoToイートやイベントの助成事業などの補助要件に加え徹底を図っていく。

観光振興、こどもの国豚熱感染対策について



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 ①マイクロツーリズムに目を向け、県民限定の県内観光キャンペーンを②こどもの国自体を整備し直す必要がある。いっそ鳥取市に移管すれば、整備構想に沿って一体的に整備運営ができるが③豚熱への対応は。

答 ①追加の県民向けも検討する②鳥取市のプランづくりに注目したい。その後県も支援や協議に応じていく。議員の提案も鳥取市側とフラクに協議したい③飼育豚へのワクチン接種を優先させ、野生イノシシにも進める準備を始めている。

一般質問

今後のコロナ対策、第5次男女共同参画計画



尾崎 薫 議員
選挙区 鳥取市
会派 会派民主

問 ①インフルエンザ流行期を前に国が軽症・無症状者を宿泊所・家庭療養とする方針だが、県は入院措置を続けるべき②感染者等の情報公表の仕方では誹謗中傷に繋がる。プライバシーに配慮すべき③第5次男女共同参画計画に「性と生殖に関する健康と権利」と「女性の政治参画の推進」を明記すべき。

答 ①県としては軽症者等も入院措置を続け感染拡大を防ぎたい②公表は個人の特定がされないよう配慮する③これらは計画の中に表現していく。

自然環境の資源回復「清流に棲むアユ」



澤 紀男 議員
選挙区 米子市
会派 公明党

問 アユは澄んだ清流を好み、ある面、水の水質のバロメーターとなる。県内の千代川、天神川、日野川の天然アユの遡上量は年々大きく減少し早急な資源回復が求められる。アユ減少の要因分析と取組、河川等の自然環境整備について伺う。

答 原因はまだ究明できていない。国の研究所といろいろな県が合同で調査を始める。また魚道として石を積み上げるような形の「小わざ魚道」を配備するとアユの遡上量は上がる。できる限りの魚道整備の進捗を図る。

鳥取県男女共同参画条例と表現の自由について



松田 正 議員
選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 倉吉市の小・中学校で流された「スタミナ納豆の歌」の歌詞の一節「女子力が上がる」というフレーズが、県男女共同参画推進員より「男女共同参画の観点から問題なしとは言えない」と指摘されたが所見を伺う。

答 倉吉の問題。非常に熱心なガールズバンドの皆さんが給食を盛り上げよう、子どもたちに栄養をしっかりと取ってもらおう、一人一人の個性があっただけという想いで創られた歌。使うか使わないかは県が口を差し挟むべきものではない。

産業振興と港湾整備、自然保護ボランティア等



山口 雅志 議員
選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①産業振興と港湾整備の方向性②自然保護ボランティア活動への県の支援策③教育への民間情報資産活用、特に動画活用。

答 ①港湾整備に合わせ、輸出入定期就航に向けた継続支援を行う。企業立地、関連産業の工業団地整備等、港湾と産業振興を将来ビジョンに組み入れ推進する②生物多様性推進センターを県庁内に作り各種ボランティア活動、NPO等々とのネットワークを作り推進する③(教育長) 既存のデジタル映像等活用できるものは利用していきたい。

デュアルスクール(※)、福祉交通の観光活用など



福浜 隆宏 議員
選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①デュアルスクール導入を②空白地域の福祉交通を観光客の二次交通にも活用を③観光客の現地消費を増やすためサービスの質と量の見直しを④ヘルスキーパー(企業内理療師)啓発を⑤県内での修学旅行の継続を。

答 ①移住や二地域居住につながり真剣に検討すべき時②国の規制緩和で可能に。周知を図る③儲け代があり満足度を高める仕掛けを議論する④障がい者雇用や健康志向企業に向け周知を図る⑤(教育長) 遠足なども含め、ふるさと教育の視点で議論していく。

コロナ禍での漁港・港湾・空港の現状と今後



安田 由毅 議員
選挙区 境港市
会派 自由民主党

問 ①新型コロナの影響を受けた各施設への対応策②各施設の機能を最大限発揮するため、また商都米子復活のためにも米子境港間の高規格道路が必要であるが実現に向けての行程は。

答 ①境漁港は、魚価を含めて対策する。境港湾については、現状厳しいことは十分認識、事業継続のためフォローアップする。米子空港は、新たな賑わい創出に県も協力する②2市1村と県でルートの考え方について協議している。一日でも早い着手に向かえるように全力を挙げる。

※ デュアルスクール：地方と都市の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる新しい学校のかたち。

一般質問

コロナ禍での誹謗中傷 持続可能な農業生産



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①誹謗中傷等が、クラスター対策条例、共同行動宣言により抑制された。このスキームは他の差別事象にも活用できるかどうか②GAP(※)の取組がトーンダウンしている。輪作、景観作物、農福連携等を推進しては。

答 ①人権尊重の社会づくり条例と併せてノウハウを残していきたい②GAPはさらなる推進を検討。連作障害対策として、輪作等の取組が広がることは地域活性化や新しい特産物を生み出す。目標数値を定め、付加価値のある農業に繋げていく。

コロナ対策、風力発電、 空中給油機、精神医療



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

問 ①コロナ対策①医療機関の減収補填②10月以降も昨年実績で病児保育に交付金を③環境破壊懸念の鳥取市の大規模風力発電計画撤回を④不具合ある新型空中給油機は配備了承するな⑤県立中央病院の精神科医師確保。

答 ①①経営支えるのは国責務。県も支援を展開②継続を言っている③住民意見踏まえしっかり意見を述べ、知事意見の履行状況を確認し地元で注意払う④米子市・境港市の判断を尊重し考えまとめる⑤(病院事業管理者)来年度常勤医師実現したい。

令和3年度予算編成、 童謡唱歌の普及等



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

問 ①ポストコロナ時代を見据え、次年度予算編成のあり方を問う②唱歌「ふるさと」について、諸外国への普及に努めるべきでは③学校教育とわらべ館の連携はどうなっているか。

答 ①医療提供体制等を含めた新型コロナ対策、多極連携型の国づくり、行政のデジタル化等をテーマとし予算編成を行う②海外への研究展開等、関係先にお勧めする③(教育長)童謡コンサート、社会科見学等の活動を通して日々連携を図っている。引き続き取組を進めていく。

新型コロナウイルスとは どういう病気か？



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

問 新型コロナウイルスは一類の感染症ほどの致死率はなく、季節性インフルエンザとそう変わらないのではないかと恐れることはないのではないかと。

答 全く違う。そういう議論が拡散しているのは非常に迷惑だ。専門家の認識はインフルエンザとは明らかに違うということであり、そうしたデマを基に対策を緩めるのは、命と健康を守る県の立場から絶対に取らない。とはいえ、単純に恐れるだけではなく、コロナとの共存を柔軟に考えていかなければならない。

インフルエンザ流行期に 備えたコロナ対策



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

問 新型コロナウイルスとの長期戦の中、コロナと症状が酷似しているインフルエンザ流行期に伴う医療機関の混乱や医療崩壊が心配される。これらに備えた本県のPCR検査や医療体制を東部中部西部の医療圏ごとに伺う。

答 PCR検査や医療体制は東中部西部の医療圏の医師会や医療機関を活用して1日2,800件を目標に調整中である。入院の医療体制は医療機関の協力の中、病床数は東部115、中部53、西部145となっている。また、宿泊療養施設も圏域ごとに調整済み。

介護・障がい福祉包括 支援交付金の周知を



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

問 コロナ禍の中、介護・障がい福祉事業所において、多くの施設で人手不足による濃厚接触など、運営や労働力に大きな負担が掛かっている。現状を踏まえ創設した、介護・障がい福祉包括支援交付金の周知不足を感じる。周知方法について問う。

答 申請においては、包括支援金と慰労金の申請が一遍にできるよう簡素化を図っている。全事業所に制度についても郵送し知らせている。なお一層丁寧な案内、個別相談に乗り、フォローアップをしていきたい。

※ GAP：農業生産工程管理（Good Agricultural Practiceの略）。

一般質問

①青少年健全育成条例改正 ②クラスター対策条例



西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①㉞児童ポルノ画像要求行為の罰則適用範囲は①青少年同士の行為にどう対処するか②㉞店名公表の事業者への対応は①協力金の額等具体的説明を求む。

答 ①㉞刑法の正当業務行為以外は幅広く罰則を適用。「画像要求は駄目」の社会規範を作る①青少年も禁止対象。学校・警察等一体で啓発に取り組む（警察本部長）指導・補導ほか保護処分の手続も行う②㉞過度な営業侵害しない配慮①1日2万円、上限30万円標準。店の規模や具体の損害に応じ柔軟に予算を執行。

県立夜間中学が 今、本当に必要か



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

問 令和5年か6年の開設を目指し、県立夜間中学の検討が進められている。学びの保障、学びの機会を設けることには賛成だが、ニーズ調査が不十分ではないか。不登校の学齢期の生徒も対象にされているが、既存の制度に課題があるのか。

答（教育長）教育機会確保法の制定により、各県に夜間中学の設置が定められた。改めてニーズ調査をしっかりと共に必要性について、議会や県民の皆様にも納得いただける判断材料を揃え開設に向けた検討をしたい。

アフターコロナの 企業誘致について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 アフターコロナを見据えた新ビジネス展開支援事業という予算が計上されている。隼Lab.のような成功事例もある。来年度当初予算に向け知事の所見を伺う。

答 新たなビジネス拠点として、隼Lab.には東京から来た企業や地元のベンチャービジネスの企業がある。国も当初予算に向けて、地方創生に絡めたテレワークの拠点づくり、サテライトオフィスなど、150億円の予算要求を求めている。県としてもしっかりと対応したい。

コロナ禍の地元雇用・ 公共工事のあり方



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

問 西部総合事務所の新棟整備事業について、多くの県民の声を聴いた。従来の公共工事の方がいい。PFIにしたら大手商社、大手ゼネコンしか取れない構造。正直なところPFIがわからない。説明を求める。

答 公共事業を一定程度やりながら、財政の健全性を確保する。

問 県の立場、分かる。でも、この事業で庁舎が分散になると、一番不利益を受けるのは、交通弱者。コストだけではなく、利便性の検証及び本当に地元の仕事が回るか。チェックが必要。

ロービジョン外来と ナラ枯れ対策について



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 ①昨春鳥大病院にロービジョン外来ができ、その効果を障がい者手帳取得数で見ると東部が低い。多岐にわたる課題解決のためにも県が司令塔での連携を②5億円の税金を投じたナラ枯れ対策は、もっと広がった。過去の検証と今後の対策、民間関係者との情報交換が必要だ。

答 ①東部での開設を後押しし精神的に実現に向かっていきたい②新年度に専門家会議を作り戦略的に進めたい。県有地で今モデル園地を考えており民間団体と一緒に対策を進めたい。

信号機のない横断歩道 での交通事故防止



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

問 信号機のない横断歩道での待機者に対し、自動車は停車しないと違反だが、本県の停車率の現状をどう分析し、またどうあるべきと考えているのか。

答 全国調査によると25%の車が停車をしている程度。横断歩道に人がいれば止まるという原則を守ることによって防げる事故はたくさんある。意識改革が大切なポイントなので、交通安全の協議会、運行管理者協議会等に働きかけるとともに、県政番組、県政だより等広報手段を通じて広報もしてまいりたい。

一般質問

過疎地域の自治体立病院について



内田 博長 議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

問 ①自治体病院の地域包括ケアシステム推進の取組評価を交付税措置対象とするよう要望。②医師の臨時定員削減は、まだ医師不足があり中止すべき。③地域の総合診療医の育成を自治医科大学に要請してほしい。

答 ①交付税措置の対象など、持続可能な運営支援を要望する②厚労省に、医師供給ストップは現実に合致していないことを強く申入れ、先送りとなった③診療科目専門医の養成と共に地域医療の専門医養成も自治医大に申し入れる。

ポストコロナにおける官民連携のあり方



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

問 ①米子市新体育館の駐車場を整備し、駐車場有料化や減免制度を見直すべき②スポーツコミッションを立上げ取組強化を図るべき③県西部に動物愛護センターを整備すべき④フレイル対策の全県への波及を図るべき⑤花回廊の委託期間は3年としバンドリング(※)等を検討すべき。

答 ①米子市と協議する。必要な施設から重点的に検討する②役割や運営を検討する③新年度に考える④米子市のような取組を広げていく⑤そのように環境を整え公明正大に議論する。

①国土強靱化と過疎法 ②青谷上寺地遺跡活用



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

問 ①令和2年度末期限の国土強靱化緊急対策と過疎法の国動向と知事の行動方針は②整備の進む青谷上寺地遺跡の活用法は。

答 ①9月30日概算要求に事項要求で載っており国交省は令和3年度以降も緊急3か年水準超え予算確保すると考える。過疎法も知事会として議員立法成立を働きかけている。両方成立に向け行動する②令和5年ぐらいを目標に上寺地遺跡を順次オープンする。高速道路整備と共に泊まって食べてアクティビティを楽しむ観光商品造成を進める。

県議会からのお知らせ

11月定例会の日程案

期 日	日 程	
11月 26日(木)	本会議(開会・提案理由説明)	
27日(金)	常任委員会	
30日(月)	本会議(代表質問)	
12月 2日(水)	本会議(一般質問・質疑)	
3日(木)		
7日(月)		
8日(火)		
10日(木)		
11日(金)	常任委員会	
15日(火)		
16日(水)		特別委員会
17日(木)		本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンで ご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→



みなさまへ

県民のみなさまに、より身近な広報紙づくりのため、「内容の充実」など、みなさまのご意見をぜひお聴かせください!

(広報委員 Y)



※ バンドリング：同種又は異種の複数施設を一括して事業化する手法